

4/12 相模女子大学風間名誉教授が「江戸時代の出版メディアと文学」をテーマに講演 NHK大河ドラマで注目される「鳶屋重三郎」刊行の黄表紙実物も紹介 相模大野駅前「ユニコムプラザさがみはら」にて

相模女子大学・相模女子大学短期大学部（所在地：神奈川県相模原市南区、学長：田畠雅英、以下「相模女子大学」）は、本学名誉教授である風間誠史から、江戸時代の出版文化に関する講演会「江戸時代の出版メディアと『ブンガク』」を、4月12日（土）14時から、bono相模大野 サウスモール3階「ユニコムプラザさがみはら」にて開催します。

本講演は、相模女子大附属図書館で所蔵する江戸時代の出版物の一部や、風間名誉教授が長年にわたって収集してきた資料などを紹介しながら、江戸文学の展開について解説します。2025年のNHK大河ドラマの主人公として話題の鳶屋重三郎が関わった黄表紙作品の実物（本学附属図書館所蔵品）も登場予定です。

書物からたどる江戸文化の奥深さを、実物とともに楽しめる貴重な機会です。地域の皆様のご参加をお待ちしています。

■当日紹介する、相模女子大学附属図書館所蔵の江戸時代の出版物



鳶屋重三郎が刊行した黄表紙
『五人切西瓜斬壳』

相模女子大学附属図書館は江戸時代に発行された出版資料を418件所蔵しており、江戸時代初期の作品から、西鶴の『日本永代蔵』、芭蕉『奥の細道』など江戸時代前期を代表する版本、さらに江戸後期の『八犬伝』や『東海道中膝栗毛』『梅暦』『偽紫田舎源氏』などが全冊揃っています。本講演ではその一部を紹介します。

■『大坂物語』

大坂冬の陣・夏の陣を描いた江戸初期のルポルタージュ的作品。江戸の出版文化の始まりを告げる作品です。

■『奥の細道』2種

芭蕉の代表作ですが、本作は出版を前提に書かれました。初版本とそれを摸刻した陰刻（黑白反転）版を比較します。

■『五人切西瓜斬壳』

鳶屋重三郎が刊行した黄表紙（江戸時代に発行された庶民向けの娯楽小説）の実物です。当時の町人文化や流行を知る手がかりとして貴重な資料です。

■講演者プロフィール



風間 誠史（相模女子大学名誉教授、学校法人相模女子大学 理事長）

1981年東京都立大学人文学部卒、1998年東京都立大学大学院より博士（文学）の学位を授与される。1993年相模女子大学短期大学部講師に就任、助教授を経て、2001年相模女子大学学芸学部教授に就任。同大学学芸学部長、副学長を歴任し、2015年学長に就任。2021年理事長に就任し、現在に至る。専門は日本近世文学。

【講演概要】

- 講演：ユニコムプラザさがみはらオーサーズカフェ 江戸時代の出版メディアと「ブンガク」
- 日時：2025年4月12日（土）14:00～15:00
- 場所：ユニコムプラザさがみはら ロビー2
(相模原市南区相模大野3丁目3番2号 bono相模大野 サウスモール3階)
- 費用：無料
- 参加申込：事前申し込みは不要です。当日直接会場へお越し下さい。

【本件に関するお問い合わせ先】

相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号

TEL: 080-5083-6834 / e-mail:t-yonezawa@onepurpose-pr.com

学園キャラクター
さがっぱ・ジョー

